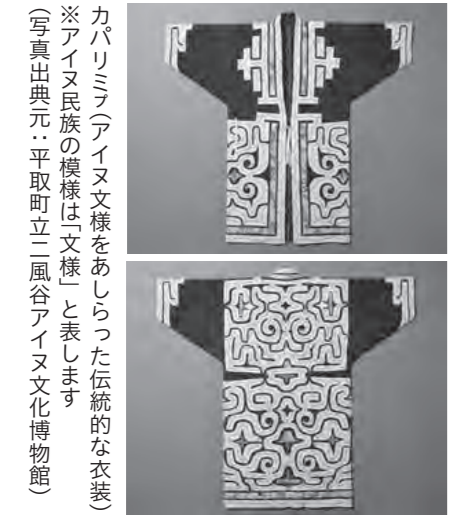


すべての人を大切にすまちに

～アイヌの人々に対する偏見や差別をなくそう～

問 人権センター
(大路二、キラリエ草津3階)
☎563-1177、FAX563-7070



カバリミナ(アイヌ文様をあしらった伝統的な衣装) ※アイヌ民族の模様は「文様」と表します (写真出典元:平取町立二風谷アイヌ文化博物館)

アイヌ民族を知っていますか
多くの人が、アイヌ民族について聞いたことがあると思います。令和元(2019)年5月に施行された「アイヌ施策推進法」では、「日本列島北部周辺、とりわけ北海道の先住民族である」と明記されていますが、アイヌ民族は、今では北海道だけでなく、日本全国で暮らしています。
アイヌ民族の間で話されていた「アイヌ語」は、日本語と系統の異なる言語で、北海道の市町村名では、約8割の地名がアイヌ語に由来しているといわれています。また、自然界全ての物に魂が宿るとされている「精神文化」や「古式舞踊」、独特の「文様」による刺繍、木彫りの工芸など、北海道の自然豊かな恵みを受けて発展した固有の文化が魅力的です。近年では、伝統的な踊りの復活や、新しいアイヌ音楽の創造などの取り組みが活発になってきています。

アイヌ民族問題の歴史
明治時代、政府は北海道(それまでの蝦夷地)の開拓政策を本格的に進め、アイヌ民族の生活安定を図る名目で「北海道旧土人保護法」を制定しました。しかし、これは江戸時代から続いていたアイヌ民族への圧迫を一層強めるものでした。例えば、日本の言語や文化を強制され、それまでのアイヌ民族固有の言語や文化が厳しく規制されました。また、移住者の漁業権などを守るため、それまでアイヌ民族がなりわいとしてきた鮭捕りや狩猟などが規制された一方で、農耕用の土地が与えられました。しかし、農耕には適さない土地が多く、多くのアイヌの人々が貧困に陥りました。それでも移住者たちから「自分たちとは違う者」としてさまざまな偏見や差別にさらされてきたアイヌの人々の日常生活は、ますます厳しいものになりました。

差別の実態
戦後は、これらの問題を解決するための法律が整備されてきましたが、現代社会にも、いじめや偏見、差別が根強く残っています。
結婚を反対され、就職でも差別され、せめてわが子が差別の対象にならないようにと、アイヌ語やアイヌ民族文化を子どもに教えない親もいます。また、道外に出れば差別はされないと、日本各地を転々と転居し、自らの出自を言えない人も少なくありません。
このように、アイヌの人々が差別から逃れるため、故郷や文化を捨てざるを得ない厳しい差別の現実があり、「自分たちとは違う」「違うから排除する」といった意識が社会に根強く残っています。
私たちは、差別の解決は差別を受ける側ではなく、差別をする側の責任であることを、この問題から知る必要があるといえます。

違いを認め合う
あるアイヌの人はこのように語っています。
数年前、あるカメラマンと話す機会がありました。日本での自他の違いによる差別の現状を話すと「それはおかしい。その人は自分にはないものを持っている。そんな人をいじめるのは間違っているよ。」とカメラマンは言いました。その人たちが学ばなければならぬのに、いじめるのは間違っています。よく話し合っ、理解し合わなければ、差別はなくなりません。
人と理解し合うことは、差別をなくすためのとても重要な方法です。みんな違って、当たり前。その違いを大切にし、私たち一人一人が、アイヌの歴史や伝統、文化などについて正しく理解し、全ての人が自分のルーツに誇りをもって生活していくことができる社会をめざしましょう。

7月1日(土)～7日(金)は『環境にやさしい週間』です

環境にやさしい エコな暮らしを 学ぼう!



申 くさつエコスタイルプラザ(馬場町、クリーンセンター2階)
☎561-6580、FAX561-6583、✉kankyobunka.f@gmail.com
問 環境政策課(1階) ☎561-2341、FAX561-2479

市では、生涯を通じて誰もが環境について学び、行動できる地域づくりを進めており、今年も市内各地でさまざまな環境学習イベントを開催します。

市役所1階ロビーでパネル展示を行います。子どもたちの環境活動を見て「環境にやさしい生活」の参考にしてください。

草津エコフォーラム2023 (ドキュメンタリー映画鑑賞と意見交換会)

アメリカの小学生たちがマイクロプラスチックのことを学び、行政を動かしたドキュメンタリー映画「マイクロプラスチック・ストーリー ぼくらが作る2050年(日本語吹替版)」を上映します。子どもから大人まで楽しく学べる内容ですので、ぜひ皆さんでご参加ください。
📅 7月8日(土) 2部制 10:00～12:30、13:30～16:00
📍 市役所2階 特大会議室
👤 小学生以上
👥 各150人(先着順)

応援します はじめの一步 ～小・中学生のための自由研究相談会～ [全3回]

自由研究(自然・文化・社会)のテーマ、研究方法などを一緒に考えるための相談会を開催します。全3回はどれも同じ内容です。
📅 ①7月16日(日) ②7月17日(月・祝) ③7月23日(日) 10:00～16:00
📍 ①市民交流プラザ(野路一、フェリエ南草津5階) ②キラリエ草津(大路二) ③くさつエコスタイルプラザ(馬場町)
👤 小・中学生とその保護者
👥 ・予約は開催日の前日まで
・予約なしでも当日の参加ができますが、参加者多数の場合は予約者が優先となります

環境学習ワークショップ[全6回]

環境を楽しく体験しながら学べます。全てのワークショップへの参加で、皆勤賞をとって“環境楽士”をめざそう!

ワークショップ	とき	ところ
ロクハ公園で夏の生き物を探そう(第1回)	7月29日(土) 9:00～11:00	ロクハ公園(追分七)
北山田浄水場でプランクトン観察会(第2回)	8月10日(木) 13:00～16:00	北山田浄水場(北山田町)
作ってみようソーラークッカー(第3回)	8月27日(日) 11:00～14:00	矢橋帰帆島(矢橋町) くさつ環境フェスタ2023 開催時
下物ビオトープで生き物観察会(第4回)	10月29日(日) 13:00～15:00	下物ビオトープ(下物町)
琵琶湖岸で冬鳥観察会(第5回)	12月10日(日) 13:00～15:00	湖岸緑地公園(志那1) (志那町)
エコかるたでエコ体験(第6回)	来年1月21日(日) 13:00～15:00	くさつエコスタイルプラザ (馬場町)

👤 小学生以上 定 各30人(先着順)
👥 ・雨天などの状況によって中止となる場合があります(事前連絡あり)
・広く環境を学ぶという観点から、年間一括申し込みをお勧めします(定員に満たない場合は、各回の申し込み可)
・4回以上の参加で特典がもらえます
📅 開催日の前日まで

